



WE21 ジャパン都筑

エシカルな暮らしがしたい

<https://blog.canpan.info/wetuzuki/>

リユース・リサイクルを
通じてアジアの女性たち
の自立を支援します

2020年冬号

● コロナ禍での支援先—ロックダウンなどで厳しい状況が続く中での懸命な取り組み

私たちの支援先でも、新型コロナウイルスにより、弱い立場の人々が苦しい状況になっていますが、現地のスタッフや、地域住民の助けあいの力で、乗り越えようとしています。今こそ、SDGsがかかげる「誰一人取り残さない」世界に向けて、みなさまの温かい応援をよろしくお願いします。

ACE「児童労働をなくしたい！」支援地の、インド、テランガナ州の村では

インドの新型コロナウイルス感染者数は8月17日現在で264万人を超え、亡くなった方の数は5万人を上回りました。感染は地方の村などにも広がり、心配な状況が続いています。

テランガナ州の農村部にあるACEの活動地も影響を受け、3月のロックダウン直後から日雇い労働者や貧困層を中心に、多くの人々が厳しい生活を強いられています。

「ピース・インド プロジェクト」では、政府からの支援を受けられなかった人々や、家族の人数などから支援物資が足りなかった家族53世帯を特定し、月に1度の食料セットの配布支援を開始しました。

今年の3月以降は日本からスタッフがインドを訪れることができませんが、子どもたちやその親が必要としていることは何なのか、思考錯誤しながら新たな方法を見つけていきたいと思えます。このような不安定な時期だからこそ、すでに深刻な状況に置かれていた人々が、これ以上取り残されることがないように、今後も出来る限りの活動を行っていきます。（ACE HPより抜粋）



名称も「森育ちのしょうがパウダー」に。パッケージも新しくなりました！

ショップで販売しているジンジャーティの支援地フィリピン、ベンゲット州では

フィリピンでは今でも、感染者が拡大していますが、ベンゲット州では、4月からロックダウンが行われ、感染者は抑えられています。しかし、州内の公共交通はストップしており、自家用車を持たない人々は、野菜等の物産品を売ることができず、現金収入がほとんど得られないという問題が発生していました。

今、ジンジャーティの生産が再開、日本で販売することができる事で、村の人たちは貴重な現金収入を得ることができます。そして何より、ロックダウンが続いている中でも、村の人たちは、ジンジャーティの基金があったお陰で、村内の生活困窮者の方への支援や、食糧支援を、自ら行うことができました。新しいジンジャーティ=森育ちのしょうがパウダーを、たくさん飲んで村の人たちを支えてください。（WE21ジャパン事務局 小池さん）

■ お買い物や寄付による支援、秋のフェアトレードフェア、フードドライブでのご協力、ありがとうございました。

9月から10月のフェアトレードフェアでは、パレスチナ支援のためのオリーブオイルや石けん、シサム工房から仕入れたオーガニックコットン等の販売(14万円)を通して、生産地の人々を応援することができました。



10月から11月のフードドライブでは、多くの方からご家庭で眠っている食品の寄付をいただきました。現在、コロナによる影響で、収入が減少したり、職を失ってしまったりした方が、増えていきます。皆さまの温かいお気持ちを、フードバンクかながわを通して、食べ物を必要とされる方たちのもとへ、送ることができました。



集まった食べ物の寄付